

# 東京2020オリンピック

## 決勝戦ウイニングボール

野球殿堂博物館では、東京2020オリンピック開催にあたり、野球日本代表チーム関係の資料収集を行い、8月中旬より順次公開しています。

8月7日に開催されたアメリカとの決勝戦では、3回に村上宗隆選手のソロ本塁打で先制、8回には吉田正尚選手の安打に送球エラーが絡んで2点目を挙げました。投げては先発の森下暢仁投手が5回無失点、6回以降も継投で、9回は守護神・栗林良吏投手が抑え、最後はセカンドへのゴロを菊地涼介選手がショートの本坂勇人選手へ送り二塁封殺でゲームセット！

2-0の勝利で金メダル獲得を決めたウイニングボールは、8月12日に日本野球機構(NPB)を訪れた稲葉篤紀監督により日付とサインが書き込まれて、斉藤惇コミッショナー(当博物館理事長)に寄贈され、翌13日から当博物館での公開が始まりました。

この他、全選手のユニホームや坂本選手使用スパイク、決勝戦使用のサードベースなど様々な資料がNPBと日本代表チームのご協力により収集されました。また、8月13～15日は大野雄大投手の金メダル、同16～31日は坂本選手の金メダル、同27～29日

は村上選手の金メダルをお借りして展示し、多くのファンの皆様にご覧いただくことができました。

決勝戦ウイニングボールなどの資料は引き続き展示しています。コロナ禍で開館時間を変更しており、ご来館の際はホームページで最新の情報をご確認下さい。皆様のご来館をお待ちしております。

公益財団法人 野球殿堂博物館  
学芸員 関口貴広

